

## ワークシートに沿った見学

富士河口湖高校の1年生は、郷土の歴史を学ぶ一環として、教師自作のワークシートに沿って、各自で展示の見学・学習を行った。

事前 まず、各自で重点的に見学するテーマを設定した。テーマ例は教師が提示し、その中から選んでもいいし、生徒が独自に設定することも可とした。各自で決定したテーマを配付したワークシートに記入し、当日に調べる内容を確認した。

当日の流れ

ガイダンス



各自、ワークシートに沿った見学

1. 展示物のスケッチ(1~2点)
2. この展示物に関する疑問
3. 展示物を見て、気づいたこと
4. 展示解説から分かったこと
5. 学習の自己評価

引率教師と指導主事は展示室内を巡回して生徒の支援を行った。



引率教師によるまとめ

生徒が選んだテーマ例

武田信玄について武田家ゆかりの品々を見学・スケッチ。疑問に思ったことを展示交流員の方々に伺い、問題解決をした(一番多かった)



山梨の交通路 富士川水運 展示物の印象深いものがテーマとなっている。



山梨の地方病 展示物の印象深いものがテーマとなっている。



マイ・テーマの例 山梨の伝統技術 馬について 江戸期のトイレ 昔の遊び



事後

- 生徒に事後アンケートを取った。その結果の一部を紹介する。
- ・ 山梨のことについて知ることができてよかった。
  - ・ 学年を二つに分けたので、博物館では混み合うことなく見学できた。
  - ・ 展示交流員の説明がわかりやすかった。
  - ・ 見学時間が短かった。
  - ・ ワークシートがまとめにくかった。
  - ・ もっと学習の回数を増やしてもらいたい。

一言

山梨について知ることや集団行動を行うよい機会であるので、今後も継続していきたいという声が、教員の中では多かった。今後は、高校生らしい学習方法の計画、ワークシートの作成などが必要であるが、博物館学習に意義を感じられるガイダンスの実施も心がけていきたい。

(富士河口湖高等学校 伊藤 菜月)